



彩の国  
埼玉県



埼玉県熊谷家畜保健衛生所

住所 熊谷市円光 1-8-30

電話 048-521-1274/FAX048-526-1063

(夜間・休日等は緊急携帯電話に転送)

# 家畜衛生だより

令和5年8月発行

毎月13日は県内「一斉消毒の日」！

近年、国内において豚熱や高病原性鳥インフルエンザといった特定家畜伝染病の発生が続いています。そこで、埼玉県では家畜伝染病の侵入を防ぎ、安心・安全な県産畜産物の生産を図るため、毎月13日を県内「一斉消毒の日」と決めました。

畜産農家の皆様は日頃の消毒の実施状況を再確認するとともに、次の3点を重点的に実施してください。

## ①農場出入口での消毒の徹底

衛生管理区域の出入り口に消石灰を散布し、農場を出入りする車両には消毒を徹底してください。



## ②踏み込み消毒槽の点検と消毒液の交換

踏み込み消毒槽には消毒効果が十分に発揮されるよう常に清潔な消毒液が入るようにしてください。



## ③畜舎、器具等の清掃、消毒、整理整頓

畜舎内外の清掃消毒、器具類の洗浄消毒を行い、畜舎内を整理整頓してください。

病原体の侵入リスクを低減させるための地域一体となった取り組みとなるよう、御協力をよろしくお願いいたします。

埼玉県一丸となって家畜を伝染病から守りましょう！！

# 令和5年度第1回目牛ウイルス性下痢(BVD)

## バルク乳検査 全戸陰性

近年、BVDの発生が全国的に増加しており、県内でも持続感染牛（PI牛）摘発事例があります。

本県ではBVDのPI（持続感染）牛早期発見のため、年に2回、県内の全酪農家を対象にバルク乳を採取し、無料で検査を実施しています。

今年度第1回目は令和5年8月1日（火）に実施し、全戸陰性を確認しました。第2回目の検査は令和6年2月に実施予定です。

### 県内のPI牛摘発事例

平成29年度：酪農家1戸2頭、肉牛農家1戸1頭摘発

平成30年度：酪農家1戸2頭摘発

令和2年度：酪農家3戸3頭摘発

令和3年度：酪農家2戸3頭摘発

☆出荷先でPI牛と診断された事例もあります。

### 発生予防対策

●導入牛（妊娠牛の場合はその産子も）は、その都度BVDの検査を行いましょう。（検査手数料 600円/頭）

※販売用子牛も検査を行い、BVDをまん延させないように努めましょう。

●BVDワクチンを接種して感染を予防しましょう。

ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛には必ず不活化を接種してください。

●PI牛と診断されたら（一社）埼玉県畜産会の補助事業などを活用し、速やかにとう汰しましょう。

